

授業計画書(シラバス)

教科名	吹きガラス I	曜日 時間	前期:木9:00-17:00 後期:月9:00-17:00 木9:00-15:00	担当教員名	ボイド・スギキ
-----	---------	----------	---	-------	---------

	前期指導案		後期指導案	
(年間 4回授業 日)	4月	14 21 28	10月	3 6 13 17 20 24 27 31
	5月	12 19 26	11月	7 10 14 17 21 24 28
	6月	2 9 16 23 30	12月	
	7月	14	1月	
	9月	15	2月	
方授 法業	(講義 ・ 実技)		(講義 ・ 実技)	
授 業 内 容	4/14 - 28 安全面 ホットショップ内での仕事の仕方、道具の使い方、ガラスの巻き方、マーバー、ジャック、片付け。 5/12 - 26 ケーンの引き方、タンブラー、シリンダー、アシストの仕方 6/ 9 1回目リサーチ課題締め切り 技術課題締め切り 6/9 - 9/15 ボウル、テーパーの形、くびれのある形、ボトル、薄く吹く 9/15 飲み物用の入れものセット制作締め切り 2回目リサーチ課題締め切り 技術課題締め切り		10/3-31 タンブラー制作の向上(薄さ、視覚的効果)、シリンダー、ボウル、ボトル 11/7-28 カラー、オーバーレイ、パウダー、ケーン、インカルモについて ゴブレットについて 11/ 28 機能のある形制作締め切り 技術課題締め切り	
到 達 目 標	タンブラー、シリンダー、ボウル、ボトルなどの形を形成するための、しっかりとした基礎を身につける。 共同制作などを通して、技術習得に取り組む。		前期で習った基本的スキルの向上。 カラーを使うなど、さらなる技術の向上。	
成 績 評 価	完成作品、クラスでの積極性、出席率、態度、スケッチブックの確認		完成作品、クラスでの積極性、出席率、態度、スケッチブックの確認	
留 意 事	必要なもの、追加の活動など: ブローパイプでの制作、ポンテ、道具類、トーチ、クリアガラス		必要なもの、追加の活動など: ブローパイプでの制作、ポンテ、道具類、トーチ、クリアガラス、色ガラス	

授業計画書(シラバス)

教科名	吹きガラス I	曜日 時間	前期:木9:00-17:00 後期:月9:00-17:00 木9:00-15:00	担当教員名	中神 牧子
-----	---------	----------	---	-------	-------

	前期指導案		後期指導案	
	(年間 4 授 2 回 業 日)	4月		10月
	5月		11月	
	6月		12月	1 5 8 12 15 19 22
	7月		1月	12 16 19 23 26
	9月		2月	
方授 法業	(講義 ・ 実技)		(講義 ・ (実技))	
授 業 内 容	<p>一年生の後期前半で得た技術力をベースに、今度は、自身が何を今後制作していきたいか、自身をみつめ、興味あることを伸ばし、新しい発想や可能性を探り、視野を広げるべく、リサーチも同時に行いながら、課題制作を進める。</p> <p>課題制作 N-1 学生の興味や時代を見ながら課題を決定する。 リサーチ この課題制作に基づき、課題に対するリサーチを行う。</p> <p>スケッチ 制作におけるアイデアスケッチやテクニカルドローイングを行う。</p> <p>スケッチミーティング 随時、学生一人ひとりとアイデアについてミーティングを行う。</p> <p>1/26 クラス講評</p> <p>リサーチなどを共有し、またクラス講評では、作品発表について実践し、他の学生らと意見交換を行う。</p>			
到達 目標	<p>学生の興味、特性を生かし各々のホットワークとの関わりを模索していく。またクリエイティブなアイデアを発展させるべくスケッチやリサーチを進め、2年次に向け、自身の作品作りのベースを築く。また作品を完成させ、空間の中で展示することを学ぶ。</p>			
成績 基準 評価	<p>出席率/授業態度、授業への取り組み方/提出物/課題に対する捉え方、アイデア出し、作品スケッチ/リサーチに対する取り組み/課題作品の展示/完成度や出来映え、アイデアの言語化 等。</p>			
留意 事項				